



川口魅力発見/

vol.4

市長が聴く

Discover the charm of Kawaguchi City

社会人硬式野球チーム 川口ゴールデンDreamス



第50回全日本クラブ野球選手権大会に関東代表として全国大会に出場する社会人硬式野球チームの「川口ゴールデンDreamス」。今回は選手やご家族にお話を伺いました。

市長 皆さん、お仕事終わりのところがありがとうございます。まず

「川口ゴールデンDreamス」というチームについて教えてください。

豊山主将 2009年に地元・川口市の名前を背負って、全国で戦えるチームを作りたいと思い、立ち上げました。「ゴールデンDreamス」は「黄金の夢」。夢のあるチームにしたいという思いを込めています。最初は3人でのスタートでした。

市長 3人から始まったチームが今につながっているんですね。野球未経験のかたもいるんですか。

豊山主将 はい。うちは「来る者拒まず」。未経験で49歳から始めたメンバーもいて、今は51歳ですが上達し続けています。そういう姿を見てみると、本当にチームを作ったよかったと思います。

市長 すてきですね。では、皆さんは普段どのように活動をしているのでしょうか。

山本副主将 平日は仕事、土日に野球をしています。水曜日の夜は室内練習場に集まって練習することもあります。大変なこともあります。野球はリフレッシュの場でもあり、気持ちを切り替えて仕



市長 本当ですか！それはうれしいですね。マネジャーさん

の存在も大きそうですね。

マネジャー（山本副主将妻） 私は野球もマネジャーも経験はありませんでしたが、選手の皆さんが明るくて自然と輪に入りました。今はすごく楽しいです。

明南ちゃん（主将娘） パパもみんなも元氣だから応援したくなりました。

市長 私も皆さんの活躍を聞くたびにうれしくてさらに応援したくなります。野球以外でもつながりはあるんですか。

山本副主将 子どもが生まれたときは、チームのみんなが生活の相談に乗ってくれたり、お下りの服をもらったり、本当に助けてもらいました。このチームには野球だけではなく、

はない支え合いがあります。
豊山主将 チームの理念は「野球を通じて人生を豊かにする」です。家族ぐるみの交流もありますし、野球だけで終わらない関係を大切



にしています。

市長 理念が素晴らしいですね。チーム立ち上げから現在まで振り返るとどうですか。

大久保部長 最初は本当に大変でした。人数も少なく、入っては辞めての繰り返しでなかなかまとまりませんでした。その頃を思うとチームの団結力も高まり、うれしくて試合中に思わずうろつくこともあり。今は30人弱のメンバーでみんなが役割を持っています。誰が出て活躍ができます。

市長 皆さんのお話を聞いていると、チームの熱量がすごく伝わります。地域の皆さんとのつながりもあるそうですね。

豊泉選手 スポンサーとして応援してくださるかたも増えていきます。「頑張っているから応援したい」と言っていただけなのは本当にありがたいです。

市長 それでは今後の目標を教えてください。

豊山主将 2年前に初めて全国大会へ出場しましたが、ベスト8という結果で悔しさが残りました。今年は再び全国への挑戦権を得ています。準決勝、決勝は東京ドームで開催されるので、全員そこでプレーすることを目指しています。

豊泉選手 個人の成績よりも、チームとしての目標を達成したいという思いが強いです。東京ドーム



という舞台を目指して頑張ります。

山本副主将 勝つことはもちろんですが、

誰でも長く野球を楽しめる環境をつくり続けることも大切にしたいです。さまざまな人が集まるからこそ、ずっと続けられるチームにしていきたいと思っています。

小越コーチ 全国大会前になると、頭の中は野球のことばかりです（笑）。レギュラー争いも激しくなり、誰を起用するか悩みますが、それがお互いの成長につながっています。東京ドームという舞台は本当に特別なので、ぜひみんなに経験してほしいです。

市長 「誰を出すか」ではなく「みんなの悩みに悩む」といううれしい悩みですね。ゴールデンDreamスの皆さんなら、夢を現実に変えていける気がします。私も東京ドームを楽しみに、これからも応援していきます。本日はありがとうございました。

